

橋本市民病院を受診された患者さまへ

当院では、下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に研究等への参加をお願いすることがありますので、ご協力よろしくお願いします。

研究課題名	抗認知症薬の効果に関するアンケート調査
研究担当者	橋本市民病院 脳神経外科 大饗 義仁
目的・概要	抗認知症薬は、現在日本では、ドネペジル、ガランタミン、リバスチグミン、メマンチンの4種類が処方可能となっている。しかし、主な薬の効果は、認知症の進行を遅らせる効果であり、本人、介護者にとっては、薬の効き目が非常にわかりにくいものとなっている。そのため、薬の効果判定シートを用いて、本人および介護者にどのような効果があるかチェックしていただき、それぞれの薬で効果の違いを検討する。
研究対象 実施機関 実施場所等	当院物忘れ外来通院中の患者さんで、平成29年4月から6月までの3ヶ月で新たに抗認知症薬を処方した方に対して、2から3ヶ月後に薬の効果判定シートを用いて、本人および介護者にチェックをしてもらい、効果を判定する。
研究期間	2017年4月～
研究等における倫理的配慮、人権擁護及び個人情報保護の保護等	分析したデータの個人名は当科で保管する台帳だけに記録し、分析にあたっては番号や記号をつけて扱う。研究者や第三者が個人名を特定できないようにする。また、分析結果を学会や論文で発表する時においても個人名が特定できないようにする。
備考	